

和歌山県認知症疾患医療センター

第5回

市民公開講座

(第15回研修会)



とき

平成30年

3月10日土

入場無料

14:00～16:00

ところ

和歌山県立医科大学
講堂

和歌山市紀三井寺811-1



〈参加のお申し込みは不要です。直接会場にお越しください。〉

演題

「コグニサイズ」で認知症予防

講師 島田 裕之

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部 部長

主催 / 和歌山県認知症疾患医療センター 和歌山県立医科大学附属病院

お問い合わせ先/和歌山県立医科大学附属病院 認知症疾患医療センター 電話 073-441-0776

コグニサイズとは、認知を表す英語「コグニション」と

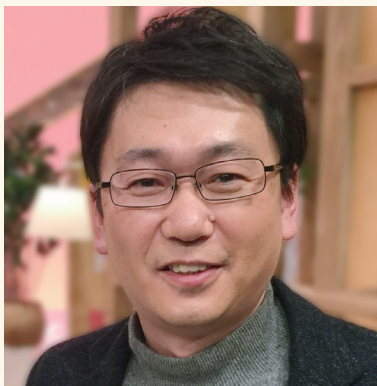
運動を表す「エクササイズ」を掛け合わせた造語です。

運動で体の健康を促すと同時に、脳の活動を活発にする機会を増やし

認知症の発症を遅延させることが目的です。

コグニサイズについて一緒に学び、日常生活に取り入れてみませんか。

講師プロフィール



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研究センター
予防老年学研究部

部長 島田 裕之

平成15年北里大学大学院博士課程を修了(リハビリテーション医学)。東京都老人総合研究所研究員、Prince of Wales Medical Research Institute (Sydney, Australia) 客員研究員、日本学術振興会特別研究員、東京都健康長寿医療センター研究所を経て、現在は国立長寿医療研究センターに所属。名古屋大学、信州大学大学院の客員教授を併任。専門領域はリハビリテーション医学、老年学。高齢者の健康増進に関する研究を行っており、第10回社団法人日本老年医学会優秀論文賞、Geriatrics and Gerontology International Best Article Awardなどを受賞。

現在の主な活動

認知症予防や寝たきり予防を目指した高齢者の健康増進のための効果的なプログラムの作成と効果検証を実践している。近年では、日本医療研究開発機構や厚生労働省の研究班の代表研究者を複数務め、平成24年度介護保険制度改訂にともなう認知症予防プログラムの改訂、サルコペニアの定義に関する提言等に関与した。

〈主な研究プロジェクト〉

1. 介護予防プログラム開発に関する研究(日本医療研究開発機構)
2. 認知機能低下抑制を目的とした多面的活動プログラムの開発と効果検証(文部科学省)
3. ビッグデータを用いた認知症早期発見システムの構築(長寿医療研究開発費)
4. 運転寿命延伸プロジェクト(トヨタ自動車株式会社共同研究)

お問い合わせ先

和歌山県立医科大学附属病院
認知症疾患医療センター

073-441-0776